

科目名	基礎看護実習	必修・選択	授業形態			開講時期	
区分	臨地実習		実習			1年 2学期	
担当者	1年担当者	資格	看護師	実務経験	有・無	時間	210時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>基礎看護で学んだ知識・技術をもとに、科学的根拠を理解し、原理・原則に基づいた援助技術を実践できる能力を養う。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の療養生活を理解する。 2. 患者への接し方を学ぶ。 3. 患者の基本的欲求を理解し、適切な援助技術を習得する。 4. 診療の補助技術を習得する。 5. 看護行為の記録、報告の方法を学ぶ。 6. 病棟内外の医療従事者の役割とチームワークの重要性を学ぶ。 7. 准看護師としての態度を学ぶ。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p><実習期間> 53日間</p> <p><実習方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習オリエンテーションにて、実習の概要及び実習方法について説明を受ける。 2. 生徒の配置は、各施設2～3名とし、臨地実習計画表にてグループ編成する。 3. 実習経験録の項目に沿って、毎日の実習目標・行動計画に立て事前学習し、見学・説明および実施する内容とする。 4. 実習翌日、実習指導者に前日の実習記録を提出する。 5. 実習終了後、5段階で自己評価を行う。 <p><実習内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各施設にて、実習指導者よりオリエンテーションを受ける。 2. 病棟を見学し、患者の療養生活を学ぶ。 3. 看護ケア場面を見学し、適切な援助技術、診療の補助技術を習得する。 4. 病棟内外の医療従事者の役割とチームワークの重要性を学ぶ。 <p><実習場所></p> <p>医師会市民病院 白石病院 瀬戸内海病院 三木病院 吉野病院 美須賀病院</p>							
<p>履修条件</p> <p>実習開始までの科目履修。基礎看護技術の学内演習履修。</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席時間、実習内容、実習記録、実習態度などにより総合的に判断する。</p>							

科目名	成人看護実習 I	必修・選択	授業形態			開講時期	
			実習			1年 2年	
区分	臨地実習						
担当者	各施設 臨地実習指導者 2年担当者	資格	看護師	実務 経験	有・無	時間	160 / 385時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>慢性期にある対象を理解し、障害やその疾患をコントロールしながらセルフケア能力を高めるための看護援助を学ぶ。 終末期にある対象の特徴を理解し、苦痛の緩和と、人間としての尊厳を保つための援助方法について学ぶ。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 慢性期にある患者を理解し、看護の必要性を見出し適切な援助を展開する過程を学ぶ。 慢性期にある患者を通して状態に応じた適切な援助、生活指導、健康教育の重要性を理解する。 終末期にある患者を理解し、看護の基本的役割を学ぶ。 終末期にある患者やその家族のニーズを尊重し、苦痛を緩和するための援助について学ぶ。 終末期にある患者やその家族の死の受容に応じた援助の実際を学ぶ。 人間の尊厳に基づいた看護について考え、自己の死生観を養う。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p><実習期間></p> <p>1年次 20日間 2年次 9日間 オリエンテーション 6回</p> <p><実習方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 実習のオリエンテーションにて、実習の概要及び実習方法について説明を受ける。 生徒の配置は、各3名程度とし臨地実習計画表にてグループ編成する。 受け持ち患者を1名受け持ち、看護の展開を実施する。 実習経験録の項目に沿って、毎日の実習目標・行動計画を立て事前学習し、見学・説明および実施する内容とする。 実習翌日、実習指導者に前日の実習記録を提出する。 実習終了後、5段階で自己評価を行う。 <p><実習内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 実習指導者よりオリエンテーションを受ける。 患者の1日の生活状況を理解し、適切な援助を考え実施する。 受け持ち患者の看護過程の展開を行う。 <p><実習場所></p> <p>医師会市民病院 白石病院 瀬戸内海病院 吉野病院 美須賀病院</p>							
<p>履修条件</p> <p>基礎看護実習の履修、関連科目の履修。</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席時間、実習内容、実習記録、実習態度などにより総合的に判断する。</p>							

科目名	成人看護実習Ⅱ	必修・選択	授業形態			開講時期	
			実習			2年	
区分	臨地実習		資格	看護師	実務経験	有・無	時間 157 / 385時間
担当者	各施設 臨地実習指導者 2年担当者						
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>生命の危機状態にある対象の救命処置、病態、検査、治療を理解し、救命・救急医療における患者のニーズに応じた看護と、ボディイメージの変化に対し、患者が障害を受容し、生活の自立ができるための看護を学ぶ。</p> <p>リハビリテーションを必要とする対象の特徴を理解し、障害受容と生活の自立への看護を学ぶ。</p> <p>各器官（眼科・歯科・耳鼻咽喉科）の看護を行う上での基本的姿勢を確認し、看護の要点を学ぶ。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 手術療法を受ける患者を総合的に理解し、看護の必要性を見出し、適切な援助を学ぶ。 2. 手術室の機能と役割を理解し、手術患者の実践に必要な基礎的知識・技術・態度を学ぶ。 3. リハビリテーションを受けている対象の患者について見学を通して理解する。 4. リハビリテーション期における看護の役割を理解し、日常生活動作（ADL）の向上に向けての看護の関りを学ぶ。 5. 各器官（眼科・歯科・耳鼻咽喉科）の病態生理を理解し、それぞれの機能の役割と身体への影響を学ぶ。 6. 各器官（眼科・歯科・耳鼻咽喉科）の症状、検査、治療、処置等を見学することで看護の役割を学ぶ。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p><実習期間> 2年次 20日間 オリエンテーション 1日</p> <p><実習方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習オリエンテーションにて、実習の概要及び実習方法について説明を受ける。 2. 生徒の配置は、各3名程度とし臨地実習計画表にてグループ編成する。 3. 受け持ち患者を1名受け持ち、看護の展開を実施する。 4. 実習経験録の項目に沿って、毎日の実習目標・行動計画を立て事前学習し、見学・説明および実施する内容とする。 5. 実習翌日、実習指導者に前日の実習記録を提出する。 6. 実習終了後、5段階で自己評価を行う。 <p><実習内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習指導者よりオリエンテーションを受ける。 2. 患者の1日の生活状況を理解し、適切な援助を考え実施する。 3. 受け持ち患者の看護過程の展開を行う。 <p><実習場所> 医師会市民病院 白石病院 三木病院 吉野病院 美須賀病院</p>							
<p>履修条件</p> <p>基礎看護実習の履修、関連科目の履修。</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席時間、実習内容、実習記録、実習態度などにより総合的に判断する。</p>							

科目名	老年看護実習	必修・選択	授業形態			開講時期	
			実習			2年	
区分	臨地実習						
担当者	各施設 臨地実習指導者 2年担当者	資格	看護師	実務 経験	有・無	時間	68 / 385時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>老年期にある対象の特徴を理解し、老化と疾病に応じた看護に必要な基礎的知識・技術・態度を養う。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設の概要を理解する。 2. 施設で生活する老年者の身体的、精神的、社会的特徴を理解する。 3. 老年期に多い疾患と看護について理解する。 4. 老年者の特徴をふまえて、日常生活援助ができる。 5. 老人保健施設における看護の位置づけと役割を理解する。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p><実習期間> 2年次 9日間 介護老人保健施設慰問 1回（オリエンテーション）</p> <p><実習方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習オリエンテーションにて、実習の概要及び実習方法について説明を受ける。 2. 生徒の配置は、各3名程度とし臨地実習計画表にてグループ編成する。 3. 実習経験録の項目に沿って、毎日の実習目標・行動計画を立て事前学習し、見学・説明および実施する内容とする。 4. 実習翌日、実習指導者に前日の実習記録を提出する。 5. 実習終了後、5段階で自己評価を行う。 <p><実習内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習指導者よりオリエンテーションを受ける。 2. 入所している老年者の身体的・社会的・精神的特徴を観察する。 3. 入所者の1日の生活状況を理解する。（集団リハビリやレクリエーションへの参加） 4. 入所者の加齢による変化に応じたコミュニケーション方法を学ぶ。 5. 入所者（1名）の日常生活における活動状況について、ADL-20評価（記録用紙No.7）を用いて自立度を観察する。 6. 5の入所者1名の（援助者に同行および立ち合いのもと）自立度を理解し日常生活援助を行う。以下のいずれかの項目を選択する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 環境 ② 食事の援助 ③ 移動の援助（例：車椅子からベッドの移乗、歩行他） ④ 清潔（入浴介助、清拭、着替え、整容他） ⑤ 排泄の援助 <p><実習場所> ときわ園・さくら苑・セントラルケアホーム・燧園・八恵苑 ※介護老人保健施設慰問場所：かのこ・泉荘・桜井荘・シルバーハウス吹揚</p>							
<p>履修条件</p> <p>基礎看護実習の履修、関連科目の履修。事前学習の完成。</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席時間、実習内容、実習記録、実習態度などにより総合的に判断する。</p>							

科目名	母子看護実習 (母性看護実習)	必修・選択	授業形態		開講時期	
			実習		2年	
区分	臨地実習					
担当者	臨地実習指導者 2年担当者	資格	看護師	実務 経験	有・無	時間 49 / 72時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>母性看護における准看護師の役割を理解し、対象に応じた看護が実践できるよう基礎的能力を養う。</p>						
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 産科病棟の特殊性を理解する。 妊婦・産婦・褥婦・新生児の援助に必要な基礎的看護技術を学ぶ。 						
<p>授業概要（授業計画）</p> <p><実習期間> 6日間 学内オリエンテーション</p> <p><実習方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 実習オリエンテーションにて、実習の概要及び実習方法について説明を受ける。 生徒の配置は、各8名程度とし臨地実習計画表にてグループ編成する。 実習経験録の項目に沿って、毎日の実習目標・行動計画を立て事前学習し、見学・説明および実施する内容とする。 実習翌日、実習指導者に前日の実習記録を提出する。 実習終了後、5段階で自己評価を行う。 <p><実習内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 実習指導者よりオリエンテーションを受ける。 産科病棟を見学し、産科の環境を学ぶ。 看護場面を見学し、妊婦・産婦・褥婦に応じた援助技術を習得する。 産科外来の特殊性を学び、産科看護の役割を学ぶ。 <p><実習場所> きら病院</p>						
<p>履修条件</p> <p>基礎看護実習の履修、小児看護の科目履修。</p>						
<p>成績評価方法</p> <p>出席時間、実習内容、実習記録、実習態度などにより総合的に判断する。</p>						

科目名	母子看護実習 (小児看護実習)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			実習			2年	
区分	臨地実習						
担当者	臨地実習指導者 2年担当者	資格	看護師	実務 経験	有・無	時間	23 / 72時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>小児期にある対象の特徴を理解し、健康上の問題をもつ小児及び家族に対する看護実践に必要な基礎的能力を養う。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の成長発達について総合的に理解する。 2. 小児科病棟の特殊性を理解する。 3. 健康障害をもつ小児および家族に対し、成長発達に応じた援助技術術を習得する。 4. 小児科外来の特殊性を学び、小児看護の役割を理解する。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p><実習期間> 3日間</p> <p><実習方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習オリエンテーションにて、実習の概要及び実習方法について説明を受ける。 2. 生徒の配置は、各施設3名までとし臨地実習計画表にてグループ編成する。 3. 実習経験録の項目に沿って、毎日の実習目標・行動計画を立て事前学習し、見学・説明および実施する内容とする。 4. 実習翌日、実習指導者に前日の実習記録を提出する。 5. 実習終了後、5段階で自己評価を行う。 <p><実習内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各施設にて、実習指導者よりオリエンテーションを受ける。 2. 小児科外来を見学し、小児科外来の環境を学ぶ。 3. 外来受診場面を見学し、健康障害をもつ小児および家族に対し、成長発達に応じた援助技術を習得する。 4. 小児科外来の特殊性を学び、小児看護の役割を学ぶ。 <p><実習場所> 瀬戸内海病院</p>							
<p>履修条件</p> <p>基礎看護実習の履修、小児看護の科目履修。</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席時間、実習内容、実習記録、実習態度などにより総合的に判断する。</p>							

科目名	精神看護実習 (精神看護実習)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			実習			1年 3学期	
区分	臨地実習						
担当者	臨地実習指導者 1年担当者	資格	看護師	実務 経験	有・無	時間	32 / 70時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>精神障害をもつ対象とその家族を理解し、心の健康に向けて援助できる基礎的能力を養う。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の入院生活環境を治療・保護・安全面から理解する。 2. 主な精神疾患の症状について観察し、検査、治療、看護の概要を理解する。 3. 精神を障害された患者を理解する。 4. 精神を障害された患者の社会復帰について理解し、精神看護における看護師の役割を学ぶ。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p><実習期間> 8日間</p> <p><実習方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習オリエンテーションにて、実習の概要及び実習方法について説明を受ける。 2. 生徒の配置は、各施設10名程度とし臨地実習計画表にてグループ編成する。 3. 実習経験録の項目に沿って、毎日の実習目標・行動計画を立て事前学習し、見学・説明および実施する内容とする。 4. 実習翌日、実習指導者に前日の実習記録を提出する。 5. 実習終了日、プロセスレコード発表および反省会を行う。 6. 実習終了後、5段階で自己評価を行う。 <p><実習内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各施設にて、実習指導者よりオリエンテーションを受ける。 2. 病棟を見学し、患者の療養生活を学ぶ。 3. 看護ケア場面を見学し、適切な援助技術、診療の補助技術を習得する。 4. 病棟内外の医療従事者の役割とチームワークの重要性を学ぶ。 <p><実習場所> 正光会今治病院（5.6.7病棟）</p>							
<p>履修条件</p> <p>基礎看護実習の履修、精神看護の科目履修。</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席時間、実習内容、実習記録、実習態度などにより総合的に判断する。</p>							

科目名	精神看護実習 (認知症性精神障害者)	必修・選択	授業形態			開講時期	
			実習			2年	
区分	臨地実習						
担当者	臨地実習指導者 2年担当者	資格	看護師	実務 経験	有・無	時間	38 / 70時間
<p>授業の目的・ねらい</p> <p>認知症性障害者の問題行動や精神症状の特徴を理解し、看護に必要な基礎的知識、技術、態度を養う。</p>							
<p>生徒の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症性精神障害者の病態生理、症状診断、治療の概要を理解できる。 2. 認知症性精神障害者の看護の概要を理解する。 							
<p>授業概要（授業計画）</p> <p><実習期間> 5日間</p> <p><実習方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習オリエンテーションにて、実習の概要及び実習方法について説明を受ける。 2. 生徒の配置は、各施設3名程度とし臨地実習計画表にてグループ編成する。 3. 実習経験録の項目に沿って、毎日の実習目標・行動計画を立て事前学習し、見学・説明および実施する内容とする。 4. 実習翌日、実習指導者に前日の実習記録を提出する。 5. 実習終了後、5段階で自己評価を行う。 <p><実習内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習初日、実習指導者よりオリエンテーションを受ける。 2. 認知症性精神障害者の特徴、特有の症状を理解し、関わり方を学ぶ。 3. 認知症性精神障害者への看護を見学し、多職種連携について理解する。 <p><実習場所> シルビウスケアセンター</p>							
<p>履修条件</p> <p>基礎看護実習の履修、精神看護の科目履修。</p>							
<p>成績評価方法</p> <p>出席時間、実習内容、実習記録、実習態度などにより総合的に判断する。</p>							